

最優秀親子ら表彰

福島民報社「私と新聞」作文

読む力が E! 新聞

福島民報社が主催した第七回「私と新聞」親子作文コンクールの表彰式は十八日、福島市の民報ビルで行われた。

親子賞の最優秀賞に選ばれた小学生の部の橋本翔君(〇)と三春町、要田小四年と母由香里さん(四七)、中学

生の部の須賀了磨さん(二四)と会津若松市、若松二中二年と母理恵子さん(五〇)、優秀賞の親子三組のうち小学生

の部の郡司幸さん(九二)と田村市、関本小三年と母千春さん(四四)、遠藤萌花さん(〇)と福島市、福島三小五年と母陽子さん(四〇)が出

席した。福島民報社の安田信二地域交流室長が「作文に込められた新聞への期待を紙面作りの糧にしたい」とあいさつし、一人一人に表彰状と記念品を手渡した。審査員を務めた県教育庁東北教育事務所の嶋原俊洋学校教育課指導

は、「皆さんの作文から、知識の吸収、脳の活性化、コミュニケーションの円滑化など、新聞が果たす役割の多様さを感じた。な

どと講評を述べた。コンクールは家庭や



学校で新聞に親しんでもらう「読む 知る 学ぶ『E!新聞』プロジェクト」の一環として県、県教委の後援で行った。親子合わせて四百八十一一点の作品が寄せられた。(受賞者名は6日付に掲載)

表彰状を手に喜び合う(前列左から)橋本由香里さんと翔君、須賀了磨さんと理恵子さん(後列左から)郡司千春さんと幸さん、遠藤萌花さんと陽子さん